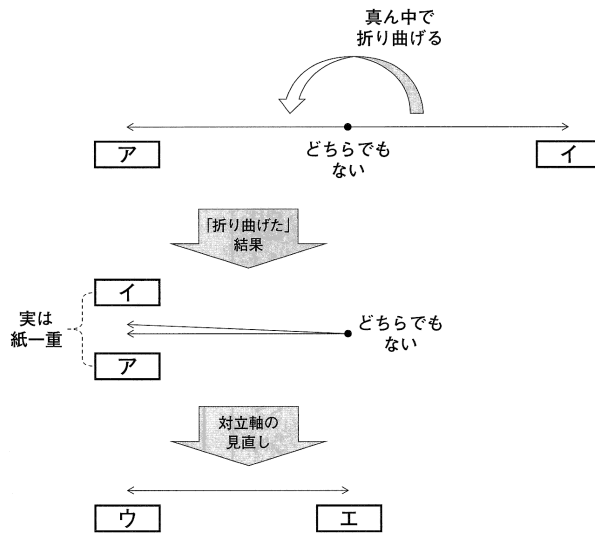


【出題の趣旨】

書き手の考えと具体例との関係を叙述に即して捉えた上で、身の回りにある別の例に当てはめて考えることができるかどうかをみる。

【千葉県の問題と関連する問題例】 2 (四)

- | | | | |
|---------|------------|----------|---------|
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| ウ | ウ | ウ | ウ |
| ア | ア | ア | ア |
| 物事に挑戦する | コンクールで入選する | 文章を追加する | 判断を示す |
| | 物事に挑戦する | 文章を増やす | 提案を肯定する |
| | コンクールで入選する | 文章を削減する | 提案を否定する |
| | 物事に挑戦しない | 文章を削除する | 判断を示さない |
| | コンクールで落選する | 提案を減らす | 提案を肯定する |
| | 物事に挑戦しない | 状況が変わる | 提案を否定する |
| | コンクールで落選する | 状況が変わらない | 文章を削減する |
| | 物事に挑戦しない | 状況が変わらない | 提案を減らす |
| | コンクールで落選する | 状況が変わる | 文章を削除する |
| | 物事に挑戦しない | 状況が変わる | 提案を減らす |
| | コンクールで落選する | 状況が変わらない | 文章を削除する |
| | 物事に挑戦しない | 状況が変わらない | 提案を減らす |



四 — 線部④「ぜひ読者の皆さんの身の回りでも採って『半分』に折って』違う見方で考えてみてください」とありますが、次の図の「ア、イ、ウ、エ」に入る言葉の組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

【学習指導要領における領域・内容】

〔第1学年〕 C 読むこと

文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。

【解答を導き出すために、子供に気付かせたいポイント】

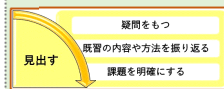
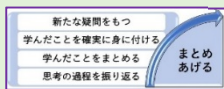
- ・「固定観念を異なる視点から見ることで新しいものの考え方ができる」という、書き手の考えをつかんでいる。
- ・図から、選択肢アとイは、両極にある内容であること、アとイの内容を合わせると、ウになること、ウの反意語がエになることを捉えている。

○関連する問題

- ・ H30B 1三 「説明的な文章を読む」 (正答率：13.9%)
- ・ H31 1一 「説明的な文章を読み、書き手の工夫を見付けて交流しよう」 (正答率：35.8%)

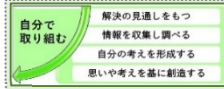
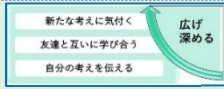
【授業改善例】

(4) 具体的な事例とともに、書き手の考えに対する自分の考えを書く。

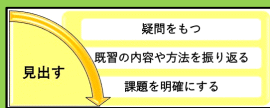


(1) 説明的な文章を読み、書き手の考えに合う身近な事例を伝え合うという課題を設定し、学習の見通しをもつ。

(3) 図を活用しながら、身の回りの事例を友達と伝え合う。



(2) 書き手の考えと具体例の関係を叙述に即して捉え、書き手の考えに合う別の事例を考える。



(1) 説明的な文章を読み、書き手の考えに合う身近な事例を伝え合うという課題を設定し、学習の見通しをもつ。

予想される子供の疑問：書き手の考えを捉えること、身の回りの事例に関すること。
整理し、焦点化した疑問：どのような方法で書き手の考えを捉え、身の回りの事例を伝えればよいか。
〈課題〉複数の事例を図に当てはめ捉えることで、書き手の考えを明確にする。

第1時

- (1) 学習の見通しをもつ。
- (2) 図に当てはめながら、事例の内容を読み取る。



書き手の考えに合うように、右側の図に文章の言葉や文を当てはめたものをつくります。

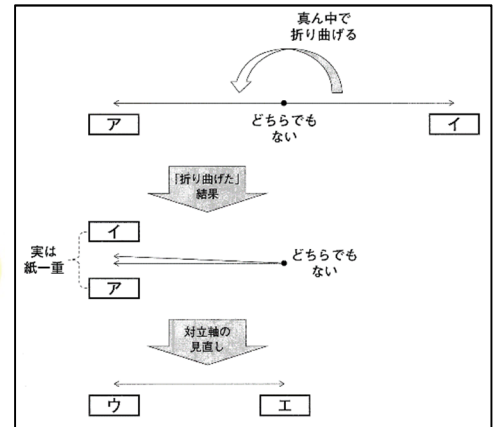
教師

どのような点について、意識して書いたらよいのでしょうか。

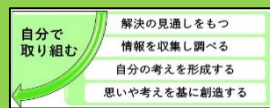


自分で説明できる図をつくって紹介するためには、**文章内容を正しく解釈することが必要**ですね。

教師



複数の事例について、図と言葉をつなげさせるなかで、書き手の考えをつかませていくことが大切です。



(2) 書き手の考えと具体例の関係を叙述に即して捉え、書き手の考えに合う別の事例を考える。

子供の「見方・考え方」：説明的な文章と図を合わせ、書き手の考えを捉えることができる。
課題解決の視点や方法：事例ごとに解釈することで、書き手の考えを捉える。
〈視点〉図に合う事例の言葉や文を、書き手の考えに合わせていく。

第2時

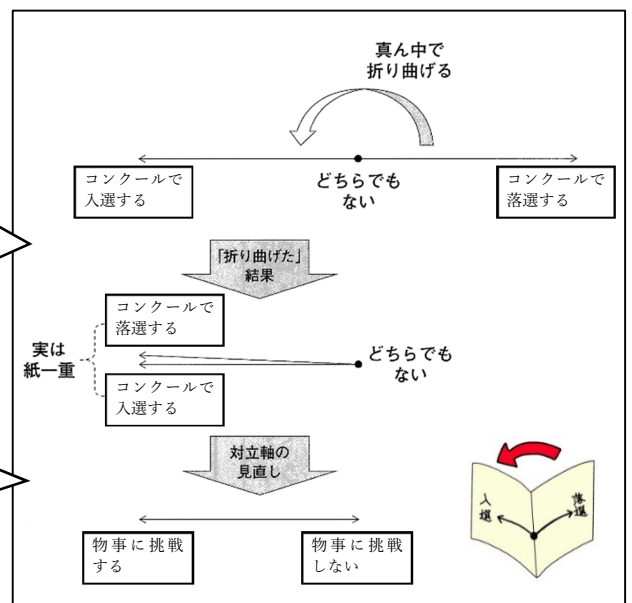
- (3) 複数の事例から、書き手の考えを捉える。

図に、事例にある言葉を当てはめてみて、
①はじめの言葉が「反意語」の関係である。
②両極にある言葉を「同意語」で表せる。
③新たな「同意語」に対する、対極の言葉がある。
①～③の順に確かめることで、書き手の考えに合う事例かどうかを確かめることができます。

- (4) 書き手の考えに合う、他の事例を見付ける。

反意語の関係にある言葉を見つける方法として、
・漢字辞典や対義語辞典を活用する。
・インターネットで「〇〇 対義語」と検索する。
等が考えられます。

- (5) 見つけた事例を図に当てはめながら、書き手の考えに合うか、伝える内容や言葉を確認する。



生徒が言葉や文の関係を捉えにくい場合は、見つけた事例の言葉を図に書き込み、書いた紙を折り曲げて、両極にある言葉や折り曲げた後の言葉を比較・検討していく方法も有効です。

新たな考えに気付く
広げ
深める
友達と互いに学び合う
自分の考えを伝える

(3) 図を活用しながら、身の回りの事例を友達と伝え合う。

主体的に学び合う姿：話し手は聞き手の反応を見ながら発表し、聞き手は話し手が伝えたいことを考えながら発表を聞き、聞き取りメモを取る。

考えをつなぐ手立て：友達が伝えたいことやスピーチの良い点を記入したスピーチ聞き取りメモ。

➡ 〈展開〉間の取り方、視線、表情、身振りなどを工夫する。

第4時

(6) 紹介された事例が、書き手の考えに合うものかを考え合う。

「判断を示す」の反意語は「判断を示さない」ですけど、「肯定」という点では同意語と言えますよね。それらの反意語は「否定」ということになりますね。



「判断を示す」の反意語は「判断を示さない」でいいですね。「肯定」の反意語は「否定」だし…。でもどこか、ちがうような感じがします。なぜでしょう？



困ったときは、言葉や文を図に当てはめてみてはどうでしょう。半分に折り曲げて、言葉の組合せを確かめてみましょう。



教師

生徒同士で、書き手の考えに合う事例を読み解かせることで、書き手の考えを的確に捉えられるようにしていきます。

(7) 書き手の考えについて、友達と伝え合う。

書き手の考えを表す「常識」「固定観念」「異なる視点」「両極端」「中庸」という言葉を自分の言葉に置き換えて説明できると、理解できていると言えるのではないのでしょうか。



新たな疑問をもつ
学んだことを確実に身に付ける
学んだことをまとめる
思考の過程を振り返る
まとめ
あげる

(4) 具体的な事例とともに、書き手の考えに対する自分の考えを書く。

自分の思考の振り返り：書き手の考えに合う事例かどうかを確認する。

考えを整理させる視点：選んだ事例が他の事例と同様に図示できるかを確認する。

➡ 〈整理〉事例を当てはめながら、自分の言葉で説明できる。

第5時

(8) 見つけた事例と書き手の考えをノートにまとめる。



教師

書き手の考えについて、あなたの考えもまとめてみましょう。

振り返りの場面では、意見交流の場で紹介された複数の事例を踏まえながら、書き手の考えに対する自分の考えが適切だったかを再確認させます。

図が表していることへの理解が不十分である生徒には、振り返りの場面でも、図の解釈や書き手の考えについて捉え直させます。

✓ 自分の言葉で学習のまとめを書く



「南極」の反意語は「北極」が当たり前と思っている人は多い。しかし、どちらも「地球の両極」というところは共通である。このように考えると「北極」と「南極」は同じ仲間の言葉であり、反意語は「赤道」となって見え方が変わる。

生徒同士が紹介し合った事例が、書き手の考えに合うものであるかどうか判断させるためには、図で表されていることを生徒に理解させることと、意見交流の場を充実させることが大切です。

〈関連する場面〉

「伝え合う言葉 中学国語1」教育出版 言葉の小窓1 日本語の音声
「伝え合う言葉 中学国語2」教育出版 六 他者と生きる 水の山 富士山

〈関連する問題〉

「平成31年度 報告書 中学校国語」 P.23～25
「平成31年度 解説資料書 中学校国語」 P.15～16
「平成24年度【中学校】報告書」 P.148